



## 市川町の有名人 その②

学校長 岡本 敏樹

### 森田清太郎（もりたせいたろう）



この人は昭和時代の職人で、現在の市川町のある産業の創始者です。いったい何を製造した人なのでしょう？

答えはゴルフのアイアンヘッドです。現在、市川町には約20社のゴルフ関連企業があります。日本だけでなく世界のプロゴルファーが市川町産のアイアンを愛用しています。その製造の創始者となったのが森田清太郎です。

昭和3年、川辺村（西川辺）の鍛冶工の森田清太郎にゴルフのアイアンヘッド製作の依頼がありました。当時はゴルフはごく一部の人の娯楽で、クラブも全て輸入品でした。その国産化への試みとして彼に依頼があったのですが、製作にあたっては前例が全くありません。約3年間の試行錯誤の末、刀鍛冶（かたなかじ）の技術を応用した鍛造（たんぞう）製法にて、昭和5年に量産化に成功しました。日本のゴルフアイアン発祥の地が、この市川町です。

参考資料（画像取得）：市川町商工会 HP

市川町では、当地がゴルフアイアン発祥の地であること、また現在にてそれが当地の一大産業であることを、もっと内外に知らしめようという方針を持っています。町内小学校においても児童の工場見学とゴルフ体験を企画していました。残念ながら、本年度はコロナ禍のため実施できませんでしたが、今後コロナが収まれば、総合的な学習にて地域学習の一環として取り組んでいきます。

### 中野はる（なかのはる）



この人をご存知の方はそう多くはないかもしれませんが、「和紙ちぎり絵」の作家です。生まれは大正7年（1918年）で、当地への在住は、太平洋戦争での疎開からです。戦後、この地にて創作活動を開始し、亡くなったのが平成21年（2009年）です。甘地の坂戸にはこの人の記念碑（1998年建立）があり、市川町文化センター内には、この方の作品が常設展示されています。和紙によるちぎり絵という分野では最初期の作家であり、この分野の創始者であるということです。

参考資料：広報いちかわ 2012年5月号 ぶらりいちかわ散歩道<313>

私事ですが、40年ほど前に、私の母が町主催の「ちぎり絵教室」に参加していた際、一度だけ直接教えていただいたことがあるそうです。左画像は、中野はるの書籍の中の一つです。ずっと以前の出版物ですが、現在でも古書として流通しています。

画像取得：amazon 書籍販売より

### 檜本兼夫（ひのきもとかねお）

この人は下牛尾の河内の人です。歌人、つまりは短歌作家で、生まれは大正2年（1913年）です。檜本兼夫が文学に興味を持ちはじめたのは、瀬加小学校高等科の頃からでした。

※当時の小学校は尋常科と高等科がありました。1年～6年までが尋常科で、これは現在の小学校と同じ区分です。当時は尋常科の小6までが義務教育でした。高等科は2年間で、現在の中1～中2の年代です。



檜本兼夫は、河内青年団文芸部を設立して同人誌「河鹿」（かじか）を発行したのを手始めに、軍隊に召集されるまでに、福崎や姫路で、「若人」「龍騰」（りんどう）という文芸誌を次々発行し、旺盛な創作活動を行いました。軍隊では、中国大陸で日中戦争に参加しましたが、戦場でも創作意欲は衰えず、たくさんの短歌を詠んでいます。その作品は「日本短歌」に掲載され、全国に喧伝されました。そして、全国1席の座を3ヶ月続けて獲得し、一躍有名になりました。ところが、そのわずか半年後に彼は戦死してしまいました。

市川町教育委員会 HP「瀬加校区の遺跡」より引用

画像取得：同上より

わずか27歳の若さで戦死した檜本兼夫の短歌の師は、前田夕暮（まえだゆうぐれ）という人です。前田夕暮とは、若山牧水とともに「夕暮・牧水時代」といわれる時代を築いた人で、当時の短歌会を代表する人物でした。檜本兼夫の墓は、リフレッシュパーク市川から上牛尾塩谷に抜ける道沿いにあります。この墓の前の老桜は昭和15年（1940年）に師の前田夕暮が東京から訪れて植えたものです。次に、檜本兼夫の短歌を紹介します。

「痩せ蛭 まいこんできて 光りなし 寂しくもあるか 夏の夜更けは」

「人の世の 哀楽の外に 身を賭する すめらみくにの つはもの我は」

参考資料：Wikipedia・市川町教育委員会 HP「瀬加校区の遺跡」より

私事ですが、私の祖母が檜本兼夫と同級生で、同じ河内で生まれ育っています。祖母はごく普通の田舎のおばあさんでしたが、短歌を詠むのが好きでした。これも、檜本兼夫の影響の一つではないかと思えます。

---

ここからはぐんと時代を下げて、現在の人物紹介に移ります。芸能関係なので肖像権の問題があるでしょうから、顔画像は掲載しません。※ネットで検索すれば、すぐに見つかります。

---

### 濱田崇裕（はまだたかひろ） ジャニーズタレント

鶴居出身（1988年生まれ）で「ジャニーズ WEST」のメンバーとして活躍中。最新の情報では、本年2月22日配信のYahoo ニュースにて、以下の記事がありました。

人気グループ・ジャニーズ WEST の濱田崇裕が、22日放送のフジテレビ系バラエティー『スカッとカラオケ！誰もが歌える日本の名曲 SP』（後7:00）に出演する。昨年10月、12月に続く、誰もが知っている名曲を、サビの部分の歌詞が一部隠された状態で間違えずに歌い上げることができるかに挑戦する企画の第3弾。今回で3回連続の登場の濱田は、嵐の「Happiness」や、KinKi Kidsの「フラワー」、そして大先輩・SMAPの「夜空ノムコウ」や「世界に一つだけの花」で抜群の歌唱力をみせる。

上の記事で紹介されたテレビ番組を実際に見た人もあるでしょう。そこに出ていたのが濱田君でした。

引用資料：Wikipedia・Yahoo ニュースより

### ヒカル 本名：前田圭太（まえだ けいた）

鶴居出身（1991年生まれ）ユーチューバー（YouTuber）・実業家

音楽ユニット「UPSTART」のメンバー。エイベックスに所属。シバターやラファエルと「炎上軍」名義でも活動している。また、てんちむや宮迫博之ともよくコラボしている。引用資料：Wikipedia

ご年配の方にとってはユーチューバー（YouTuber）という職業は「？」ですね。インターネット上には YouTube という動画サイトがあります。世界中の人がここに自作の動画を投稿しています。その動画の閲覧数が上がっていくと、作者に広告収入が入る仕組みになっています。有名ユーチューバーは、たいへんな高収入者で、ヒカルもそのうちの一人です。ユーチューバーは今の小中学生のなりたい職業の常に上位にきます。